

2020（令和2）年度 教育行政点検評価資料  
《2019（平成31）年度 事業評価意見まとめ（案）》

伊賀市教育委員会

《 2019（平成31）年度 事業評価意見まとめ（案） 》

評価の概要	.....	1
教育総務課	.....	2
学校教育課	.....	3
給食センター	.....	5
生涯学習課	.....	6
公民館	.....	8
教育集会所	.....	11
文化財課	.....	13
上野図書館及び分館図書室	.....	14

## 令和2年度 伊賀市教育委員会の点検及び評価の概要

### 1. 経過及び目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、議会に提出するとともに公表しなければならない。」となっています。

教育委員会は、この法律に基づき、教育に関する施策について点検及び評価を行い、課題や取組みの方向性を明らかにすることにより、教育行政を効率的に進めるとともに、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進することを目的とします。

### 2. 点検・評価の方法

令和2年度教育行政評価は、伊賀市総合計画の教育関連施策や教育委員会が策定した、2019（平成31）年度教育方針に掲載し実施した施策や事業・業務を対象としました。

点検・評価については、事業担当課が作成した平成31年度実績による事務事業評価シート及びヒヤリング、その他資料に基づき行いました。

点検及び評価の内容は次のとおりです。

### 3. 総評

社会情勢が大きく変化をする中、改めて各事業の分析を行い、既成の枠にとらわれることなく実態に即した事業推進により、教育環境の更なる充実を図るよう努められたい。

#### 教育行政評価委員

氏名	所属・職名等
委員長 藤本 久司	元三重大学人文学部准教授
副委員長 加納 圭子	元学校教育課長、元中学校長
委員 西井 正和	元中学校長
委員 東 真弓	文化財保護指導委員
委員 岩佐 絹枝	社会教育委員、図書館協議会委員
委員 岡山 幹治	青少年健全育成市民連絡会議副会長

#### 事業担当課ごとの点検・評価対象事業数

担当課	教育総務課	学校教育課 (給食センター)	生涯学習課	公民館
事業数	5	13	8	1
担当課	教育集会所	文化財課	図書館	計
事業数	2	5	7	41

#### 教育行政評価委員会の開催状況

日時	場所	内容
7月27日 13:00~16:15	伊賀市役所401会議室	*評価方法及び評価対象事業の確認 *評価対象事業の説明
9月4日 9:30~11:45	伊賀市役所401会議室	*評価対象事業の評価・意見等の調整
10月6日 9:30	伊賀市役所202会議室	*評価・意見等の内容確認、まとめ

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	評価委員の意見	
教育総務課	子どもたちが、安心して学べる	1	校区再編事業の推進	長田・新居小学校再編計画 新居小学校既設校舎改築事業	○令和2年統合に向け、児童の交流会を行うとともに、スクールバス対応の調整、バス通学体験会等を行い、子どもたちが無理なく統合できる環境づくりを行った。 ○統合校建設事業として、屋内運動場改造工事、運動場整備工事等を行った。	○統合後も、子ども達のより良い環境づくりを第一に対応していただきたい。
				阿山地区小学校再編計画	玉滝小学校と阿山小学校の統合を推進するため、玉瀧地区及び玉滝小学校PTAとの協議を行った。	○児童の相互交流に努力した統合を推進されたい。
				上野南部地区小学校再編計画	依那古小学校・神戸小学校・比自岐小学校の統合について、神戸小学校PTA、神戸地区、比自岐地区等との協議を行った。	○学校の適性規模について十分理解が得られるよう尽力し、地域の合意と参画のもと計画の推進を図られたい。
		2	学校（園）施設の整備充実	上野西小学校屋内運動場改修事業	屋根・天井トラス再塗装、床張替え、トイレ改修などの内容で、大規模改造事業を実施した。	○早期から実施してきた教室の空調設置は今回の新型コロナウイルス感染症という不測の事態対応に有効だったことから、教育環境の整備について、引き続き最善を尽くされたい。
				新小学校給食センター建設事業	令和2年4月に、「いがっこ給食センター元気」が完成した。	

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	評価委員の意見	
学校教育課	子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	1・21 創造的で活力ある学校、地域とともにある学校づくり 創造的で活力ある園づくりの推進	地域とともに学校マニフェスト推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各小中学校(園)に学校評議員・学校評価委員を配置し、家庭や地域と連携し、地域や社会に開かれた学校づくりを推進した。</li> <li>○学校運営協議会の運営により、保護者と地域住民等の学校運営への参画を促し、学校、保護者、地域住民が一体となって心豊かで健やかな子どもたちの育成を図った。</li> <li>○学校支援地域本部事業を推進し、学校と地域が一体となって子どもたちを育て、地域とともにある学校づくりを進めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○評議委員会、評価委員会共に、委員が自由闊達に意見交換できる会議となるよう、各校長の工夫を期待したい。</li> <li>○各学校の教育目標や課題を家庭や地域と共有し、連携・協働した学校づくりが進められる事を期待する。学校自己評価、学校関係者評価をふまえた学校改善が今後も継続して行われ、活力ある学校づくりが進められることを期待する。</li> <li>○コロナ禍のなか、学校現場や教職員の緊迫感や疲労度は、非常に大きくなっていると思われる。本事業をはじめあらゆる事業が、現場の支援や応援にどのように役立っているのか常に確認しながら進められたい。</li> </ul>	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>○学力向上推進事業、人権同和教育推進事業、キャリア教育推進事業の三事業を実施し、各小中学校(園)の校(園)長が作成する「学校マニフェスト」の実現を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○マニフェストのマンネリ化防止のため、他校マニフェストの内容や取組み努力も熟知できる工夫をお願いしたい。</li> </ul>	
		2・22 確かな学力の形成 生活体験に即し、興味や欲求を生かした適切な指導	学力向上推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各小中学校で学力向上アクションプランを作成し、計画・実行・評価・改善のサイクルを定着に努めた。</li> <li>○伊賀市学力向上プロジェクト委員会を実施し、課題の分析、解決に向けた取り組みへの提言等をおこなうとともに、学力向上改善研修会を開催した。</li> <li>○中学校1年生で標準学力検査を実施した。</li> <li>○学力向上アドバイザーを各小中学校に派遣した。</li> <li>○「家庭学習・読書のすすめ」を作成し、小学校1年生、中学校1年生に配付した。</li> <li>○全国学力・学習状況調査(国費)、みえスタディ・チェック(県費)を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○伊賀市独自の背景、個々の状況に基づいた学力向上を図り、更なる目標値の引き上げと共に、全体のレベルアップを目指されたい。</li> <li>○きびしい状況で暮らす子どもや保護者に展望を与えるものになっているか、常に確認しながら進められたい。</li> <li>○今後、感染症等で休校措置をせざるを得ない事態を想定した学びについての検討と準備をお願いしたい。</li> <li>○子ども達一人ひとりがわかる喜びを実感し、将来への展望につながる学びの保障を期待したい。</li> </ul>	
				教職員研究研修経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○部会別教育研究活動の充実を図った。</li> <li>○職場教育研究交流会、夏季教育講演会を開催した。</li> <li>○研究指定校研究推進事業の充実を図った。(中瀬小学校、大山田中学校、府中小学校、成和東小学校)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○若手教員の指導研修は不可欠であり、情報収集、精査、調整により、教育委員会が一体となった対応に努められたい。</li> <li>○授業力向上をめざした研修の機会を充実したものにされたい。</li> <li>○教職員の働き方の問題解決と共に研修・研究活動への参加者の充実を図られたい。</li> </ul>
		3	人権・同和教育の積極的な推進及び差別解消に取り組む実践的な人間の育成	人権同和教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○伊賀市人権同和教育基本方針に基づいた研究テーマを設定し、人権・同和教育の研究と実践を行った。</li> <li>○幼稚園・小中学校全教職員で学校人権・同和教育部会を組織し、全市的に人権・同和教育の研究と推進を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「人権教育カリキュラムの見直し」は大切な指標であり、その際、学校側だけではなく、地域や家庭、関係機関と十分連携しながら進められたい。</li> <li>○すべての教育活動を通じて総合的・系統的な人権教育が進められるよう人権教育カリキュラムの活用と見直しを重ねられたい。</li> </ul>
		24				人権・同和教育の推進

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	評価委員の意見	
学校教育課	子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	4	キャリア教育の推進	キャリア教育推進事業	<p>○「自分発見！中学生・地域ふれあい事業」において、全10中学校で職場体験活動を実施した。</p> <p>○各学校における発達段階に応じた教育課程のあり方を研究した。</p> <p>○「伊賀市キャリア教育研修会」を開催し、児童生徒の社会的・職業的自立に向けた指導のあり方等について、研修を深めた。</p>	<p>○職場におけるあいさつ・礼儀とともに、職場体験中の報告、意見がきちんとと言えるよう、事前学習に努められたい。</p> <p>○激変する社会の中で、子どもたちがキャリアビジョンを持ち続けることは、年々難しくなっているように感じるが、キャリア・パスポート活用やキャリアカウンセリングの充実が、子どもたちの将来展望を少しでも拓けられるよう期待したい。</p> <p>○子ども達が伊賀地域の魅力ある企業や仕事に理解が深まるよう関係機関と連携した取組を重ねられたい。</p> <p>○自分の将来を考えるきっかけとしても重要な事業であるため、引き続き精査・拡大に努められたい。</p> <p>○思春期の感受性豊かな中学時代の職場体験は、人生の貴重な経験であり、今後も企業の理解ある支援を願いたい。</p>
		7 23	生徒指導の充実及び健全な児童生徒の育成 豊かな情操の芽生えと望ましい生活習慣の育成	生徒指導推進事業	<p>○各学校において家庭訪問、巡視・補導、関連機関との連携・対応、捜査活動等の生徒指導活動に取り組むとともに、教育相談体制・生徒指導体制を整備し、教育相談員等と連携しながら問題行動の早期発見・早期の対応や未然防止に取り組んだ。</p> <p>○スクール・ソーシャル・ワーカーを2人配置し、学校からの要望に基づいて、家庭支援や制度利用支援を行った。</p> <p>○児童生徒一人一人についての理解と対応方法、学級集団の状態と学級経営の方針について把握するため、全小中学校で学級満足度調査(Q-U調査)を2回実施した。</p> <p>○全学校にいじめ問題相談員を配置し、地域においてもいじめ問題に相談できる体制づくりに努めた。</p>	<p>○新型コロナ感染対策による対応で子供たちの生活が様変わりし、学力の差がますます明らかになっている。学習の遅れを取り戻せない児童生徒が増えることが予想され、課題でとれている。精神的ストレスを抱える子供たち一人ひとりにも寄り添う姿勢を持ち続けられたい。</p> <p>○子ども達の訴えやつぶやきを見逃がすことなく受け止め、SOSのサインには迅速で適切な対応ができる体制づくりなど、子ども達の姿にある様々な要因を考慮した生徒指導と、命の大切さを再確認する機会を繰り返しお願いしたい。</p> <p>○いじめ問題相談員に子どもが気楽に相談できるような雰囲気・情報周知を、できる限り子どもの中に徹底されたい。</p>
		8 28 29	不登校児童生徒への理解と社会的自立に向けた支援の推進 教育相談の実施 不登校児童生徒の支援	不登校児童生徒支援事業	<p>○伊賀市教育支援センター(ふれあい教室)で、不登校児童生徒に対する適応指導活動、児童・生徒及び保護者との教育相談活動を実施した。</p> <p>○不登校の実態把握に努めるとともに、教育相談に関わる教職員研修を実施した。</p>	<p>○伊賀市教育支援センター(ふれあい教室)が不登校児童生徒の居場所のひとつとして、さらに充実するよう努められたい。</p>
		10	子どもたちの安全・安心の確保	教育振興一般経費	<p>○教育活動サポーターの配置、自転車ヘルメットの配付・「子どもSOSの家」旗及び注意喚起看板等の購入により、児童生徒の安全を確保した。</p>	<p>○校区再編による通学距離拡大により、交通事故のリスクは高まることから、スクールバスの充実と通学時の見守り強化を図られたい。</p>
		11 26	特別支援教育の充実 個別の支援を要する幼児についての深い理解と実態に即した適切な指導	特別支援教育充実事業	<p>○教育支援員、特別支援教育支援員を配置し、児童生徒のニーズにあった支援を行う体制をつくった。</p> <p>○児童生徒の正しい理解のために専門機関による巡回相談を実施し、適切な支援につなげた。</p>	<p>○特別な支援を必要とする子ども達が入学した際、安心して学校生活を送ることができるよう支援の連携や、できる限りの支援の継続をお願いしたい。</p> <p>○すべての教職員が特別支援教育に関する知識を深め、指導の技術について学ぶ機会としての研修を増やされたい。</p>

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	評価委員の意見	
学校教育課	子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	13	外国人児童生徒に対する教育の充実と多文化共生教育の推進	外国人児童生徒支援事業	<p>○初期適応指導教室(チャレンジ教室)を運営した。</p> <p>○「外国人児童生徒と保護者のための進路ガイダンス」を実施した。</p> <p>○外国人児童生徒のための漢字検定を実施した。</p> <p>○日本語指導者研修会を開催した。</p> <p>○外国人児童生徒日本語指導補助員を配置した。</p> <p>○日本語指導コーディネーターを派遣した。</p> <p>○教育相談、保護者への説明の際の通訳派遣、翻訳支援を実施した。</p>	<p>○「やさしい日本語」についての知識を、外国から来た子どものいる学校教員全員が持てるように、考慮されたい。</p> <p>○コロナ禍における雇用縮小により外国人親の離職が増えている。それに伴う経済的困窮のため、子供の学習の場が奪われることのないよう、相談支援の窓口を拡げられたい。</p> <p>○外国人児童生徒が日本語で学習する力を身につけることができるよう、個々の状況に応じた日本語習得のための支援の充実に努められたい。</p> <p>○2019年度の外国人児童生徒の在籍率は、全児童生徒数の5.3%と初めて5%を超え課題もますます多様化していると考えられることから、初期の日本語指導から進路保障まで、様々な支援体制の充実が求められる。</p>
		14	外国語教育の推進	英語指導助手招へい経費	<p>○外国語活動指導助手(JETプログラム事業)を各中学校へ派遣した。</p> <p>○外国語活動指導助手(直接任用)を各小学校へ派遣した。</p> <p>○小学校外国語指導者研修会を実施した。</p>	<p>○英語に親しむことで、英語が身近なものとなり、実践的に英語を使用できるような環境づくりに努められたい。教職員においても英語力、英語指導力の向上に向けた研修を推進されたい。</p>
		27	教育研究の推進充実	教育研究センター管理運営費	<p>○教育研究センターの管理運営を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育及び社会教育関係者の研修会等を開催した。</li> <li>・教職員、学校、地域の連携を支援に努めた。</li> </ul>	
給食センター	子どもたちが、安心して学べる	20	学校給食の充実	学校給食管理事業	<p>* JAなどの物資納入業者と連携し、食材の確保や価格の調整を図りながら地場産品、特に伊賀産を積極的に使用した。</p> <p>* 児童の施設見学、保護者の試食会、学校を訪れ給食センターの業務を紹介しながら、学校給食を通しての食育を実施した。</p> <p>* 毎月発行する「給食だより」では地元食材を紹介し、伊賀市ホームページには給食の献立盛付表を掲載するなど、家庭に学校給食を知ってもらった。</p> <p>* 調理場から出るクズ、学校から戻る食べ残しを検量し、児童・生徒が食べ残さない給食を提供できるよう研究した。食育の授業では「残渣」について触れた。</p> <p>* 生徒のリクエストメニューの提供やマスコットキャラクターの募集を実施してみた。</p>	<p>○給食への異物混入防止をはじめ、さらなる衛生管理の徹底を図るとともに、地元食材の積極的使用に努め、添加物等に対する配慮を行うなど食の安心、安全な提供に努められたい。</p> <p>○望ましい食生活を身につけるための教材のひとつとして、学校給食が果たす役割は大きい。栄養や食事のとり方、地域産食材等について正しい知識を持って生活することの大切さが理解されるよう計画的、継続的な食育に取り組まれたい。あわせて、食物連鎖や地球環境といった大きな視点へもつなげられたい。</p>

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	評価委員の意見
生涯学習課	生涯を通じ、生きがい	1	社会教育の推進 成人式開催経費	令和2年1月12日に新成人を祝う式典を中学校区別(9会場)を開催した。	○校区別の伊賀スタイルが定着して来たように思われるが、それぞれの創意工夫により特色ある事業となるよう、取り組まれない。
		3	地域づくりの支援 生涯学習推進啓発事業	前年度に実施した地域における学びの交流会の中で、参加者から要望のありました地域の活動事例集の作成を進め、地区市民センターや関係各課へ冊子を配布し、地域間のネットワークづくりや情報共有に努めました。	○地域での活動や参加の方法等、より分かりやすい情報発信をお願いしたい。
		4	人権尊重の精神を培い、主体的に行動のできる人づくり 教育集会所交流事業	* 伊賀市教育集会所小学生交流会「みんなよっといで！！」 * 伊賀市教育集会所中学生交流会 * 伊賀市教育集会所高校生・青年生人権学習交流会	○地域を超えて、差別をなくす取組となかまの重要性を再確認できる大切な機会となっている。一層の充実と支援を期待する。 ○活動の一つとして、料理は身近に交流できる貴重な体験ではあるが、より工夫を重ね充実した活動となるよう努められたい。また、参加者主体の自主活動としてさらに発展できるよう材料費の一部負担等も検討されたい。
	8	人権問題啓発活動の推進	同和教育研究推進事業	* 関係機関と連携し人権同和教育研究・推進活動を行いました。 * 地域の実情に応じた人権同和教育講演会・研究大会を実施しました。	○伊賀市人権同和教育研究協議会等への委託によるお任せとならないよう常に精査し、思い切った改善策を協議する取り組みも考慮されたい。 ○県や各市町の意識調査の結果を見ると、研修に3回以上参加した人の人権意識は、そうでない人と比べてかなり向上していることが明らかになっている。今後も学習啓発活動の継続と一層の充実に努められたい。
				(いがまち) * 学校人権同和教育研究会補助等 * 小中学校交流会補助	
				(青山) * 同和教育推進協議会活動研修会等 * 同和問題講演会等 * 人権のつどい * 人権啓発地区別懇談会	
				(いがまち) * 人権パネル展示 * 人権図書コーナー設置 * 公民館人権研修会	
	同和問題啓発事業	(阿山) * 人権作文・ポスター展示 * 人権パネル展示 * 人権図書コーナー設置 * 人権同和問題学習講座			
(大山田) * 人権パネル展示 * 人権図書コーナー設置 * 文化講演会 * サークル団体等人権研修会					
(青山) * 人権パネル展示 * 人権図書コーナー設置 * 公民館人権研修会					

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	評価委員の意見	
生涯学習課	子どもや若者が、健やかに成長する	5	青少年の創造的、主体的活動の進展と健全な育成活動の推進	放課後子ども教室推進事業	市内で3つの放課後子ども教室の活動支援を行った。伊賀市放課後子どもプラン施策検討委員会を8月1日(木)に開催した。	○放課後子ども教室には、放課後児童クラブと違う魅力があると思われるが、その利点を周知し各地域への事業拡大に努められたい。
				青少年運営センター	○街頭補導活動:毎月4回の定時補導等を実施した。 ○青少年相談活動:市広報などを通して、電話や面談による青少年相談活動の周知を行った。 ○環境浄化活動:三重県任命立入調査員の協力を得て青少年にとって有害な環境点検のパトロールを実施し、コンビニエンスストア・書店・小売店へ出向き、低俗な広告物・有害玩具・不良環境などの排除への協力を求めた。	○定時補導のコース等工夫を加えるとともに、指標の見直し等を検討されたい。 (青少年の育成に多くの市民が関わっているという事実から定時補導の協力者数など) ○事業の充実という意味では一定の評価がなされるが、子どもたちの環境の変化は著しいものがあり、今後はその変化に対応すべき対策や事業の取り組みも検討されたい。 ○青少年にかかわる相談窓口の一つとしての周知方法を検討されたい。
				青少年健全育成事業	○第12回「輝け! いがっ子フォトコンテスト」を実施し、輝け! いがっ子憲章の周知・啓発を行った。 ○青少年健全育成推進大会(午前の部:人形劇/午後の部:講演会)を開催した。 ○伊賀市青少年育成市民連絡会議に対して青少年育成活動事業の補助をし、助成団体の特色を生かした事業(地域住民との交流・世代間交流・自然体験など)を支援した。 ○青少年健全育成市内一斉活動を実施した。 青少年非行防止活動強化月間(7月)、子ども・若者育成支援強調月間および未成年者喫煙防止キャンペーン(11月) ○伊賀市青少年ネットワークづくり研修会、伊賀地区子どもわかもの育成支援のための支部研修会を開催した。	○青少年健全育成事業に関し、子どもたちの著しい環境の変化に対応すべき対策や事業の取り組みを検討されたい。
					(いがまち) * 夏、冬の体験教室 * 小中学生下校時パトロール * 非行防止夏季夜間パトロール * 家庭教育講演会  (島ヶ原) * 青少年非行防止パトロール * 非行防止事業 * 体験型学習  (阿山) * 青少年非行防止パトロール * 人づくり市民会議事業連携  (大山田) * むらびとづくり推進会議事業連携  (青山) * 防犯ネットワーク会議 * 小中学校下校時パトロール * 青山青少年育成会議事業連携	

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	評価委員の意見
公民館	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	7 生涯学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実	公民館事業経費	進捗率100%	○公民館事業全体をととして 公民館事業と市民センター等の事業や職員の重複など統一されていない部分が見受けられる。 各地域それぞれの特徴ある事業として継続を期待するとともに、各サークル活動や講座・教室の自立を支援することなど公民館のあり方については思い切った改革を図られたい。
				初心者を対象にパソコン教室、タブレット教室を実施した。	
				初めての講師サポート事業を実施し、2事業を採択した。	
				ゆかた着付体験、天神祭におけるだんじり見学、お囃子体験を開催した。	
				上野公民館 子の春展として、子どもを対象とした絵画と一般対象の絵馬の作品を募集し、期間中の掲載に努めた。	
				サークルまつり	
				公民館サークルの育成を行った。	
				上野公民館分館活動事業を21分館へ委託した。	
				ふるさと学習事業	
				青少年健全育成事業	
				公民館一般講座	
				公民館こども講座	
				いがまち公民館 読み聞かせ会	
				やまなみ文化協会育成	
				やまなみ文化祭	
いがまち展覧会					
いがまち分館(柘植公民館)活動事業					



所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	評価委員の意見
公民館	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	7 生涯学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実	公民館事業経費	大山田公民館 読み聞かせ会(図書室) 読み聞かせ会(大山田小学校) 読み聞かせ会(子育て支援センター他)	
				まなびあおやま(一般)講座	
				まなびあおやま(こども)講座	
				図書室公開講座『おはなし広場』	
				地域芸術向上支援事業	
				地域学習講座(青少年育成)	
				読み聞かせ会(青山図書室)	
				読み聞かせ会(青山小学校等)	
				文化サークル連協芸能発表会	
				ふるさと美術文化展覧会	
				公民館サークルの育成	
				青山分館活動事業	

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	評価委員の意見
教育集会所	部落差別をなくす	9 人権同和教育の推進	教育集会所事業経費	<p>* 地域ぐるみの同和教育総合実践活動事業 (崇広中学校区ヒューマンフェスタ) 崇広中学校を中心に校区内小学校の教師、保護者を対象に研修会等を開催し、校区内の一体となった人権同和教育を推進した。崇広中学校区地域ぐるみヒューマンフェスタを開催した。(崇広中学校区地域ぐるみの人権・同和教育推進委員会に委託)</p>	<p>○教育集会所事業全体をととして 人権同和教育の推進に対する取り組みには、各地域での積極さに敬意を表するものがあるが、実施回数と参加人数にばかり捕らわれている感がある。内容の精査とその裏付けとなる実態調査等の数値も考慮されたい。</p> <p>○中学生が中心となり、地域の大人が支援する取り組みは意義深く、今後も時代に沿いながら取り組まれない。</p> <p>○差別をなくしていくためには、「みんなの力」が必要です。教育集会所を拠点にした地域ぐるみの差別解消や一人ひとりの幸福追求をめざす取り組みは、今後ますます重要となり事業推進に努められたい。</p>
				<p>* 人権同和教育相談事業 人権同和教育の推進と併せて、保護者からの相談の機会として開設し、対応した。(各集会所では随時対応)</p>	
				<p>* 中瀬ふれあい夏祭り人権トーク&amp;コンサート 幅広い市民への人権同和教育並びに人権啓発の推進として、中瀬ふれあい夏祭りにおいて、人権トーク&amp;コンサートを開催した。</p> <p>* 寺田フィールドワーク 地域や保育士・教職員などの要望に応じて、地区内のフィールドワークを実施することにより、差別の不合理さや差別をなくすために行動する人たちの思いに触れる中で、人権意識の向上をめざした。</p> <p>* 小中人権同和教育講演会 中瀬小学校・城東中学校のPTAと共催し、児童・生徒・保護者・地域住民などを対象とした、観劇会・講演会を開催した。</p>	<p>○これまでのたゆまぬ努力と取り組みに敬意を表する。時代の大きな変化にも柔軟に対応するとともに、地域の人々が気軽に多く参加し、理解を深める企画内容を継続されたい。</p> <p>○受け身の公演(人権トーク)やコンサートに頼らず、小さくとも自分たちで行う能動的な企画を考えられれば素晴らしい人権学習に繋がるかと思われる。その工夫を求めたい。</p>
				<p>* 城東中学校区小学校3・6年生人権学習会 * 城東中学校1年生人権学習会 城東中学校区小学校3・6年生、城東中学校1年生の人権・部落問題学習の中での教育集会所・市民館訪問に対応した。</p>	
				<p>* 寺田教育を考える母(保護者)の会 部落差別に負けない、許さない子どもの育成と学力保障を実現するため、課題解決に向けた部落問題学習や懇談会を実施し、保護者同士、また、保護者と保育士・教職員とのつながりを深めた。</p> <p>* 保小中高連絡会 保・小・中・高の保育士・教職員と寺田教育集会所が、地区児童・生徒の現状や課題、部落問題について、共通認識を持ち、連携をとりながら課題解決を図ることができるよう、月1回のペースで、連絡会を開催した。</p> <p>* 中瀬城東保育園・支部・教集三者懇談会 * 中瀬小学校・支部・教集三者懇談会 * 城東中学校・支部・教集三者懇談会 地域内の保育園・小学校・中学校と部落解放同盟寺田支部、寺田教育集会所が、地区児童・生徒の現状や課題、人権同和教育の推進について、共通認識を持つため、懇談会を開催した。</p>	

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	評価委員の意見
教育集会所	部落差別をなくす	9	人権同和教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 柘植中学校校区連絡会議</li> </ul>	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>* 大山田保育園解放保育懇談会</li> <li>* 大山田小学校教育懇談会</li> <li>* 大山田中学校教育懇談会</li> </ul>	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>* 青山学校同和教育推進委員会</li> </ul>	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>* 保小中同和教育実践交流会</li> <li>* 推進委員会</li> <li>* 実践報告書作成</li> <li>* 推進委員会だより発行</li> </ul>	
			人権教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 生活講座、識字教室 部落差別によって奪われた文字や文化・生活を取り戻すため、文字を中心とした学習活動や差別の不合理さを伝え差別をなくすための啓発活動を共同作品製作を通じて行った。</li> </ul>	○「差別された」「人権侵害を受けた」と感じた時に、相談できる機関や人材が周知されているということはとても重要で、そうした相談機能の充実という面でも、人権教育推進事業の果たす役割は大きく、事業の推進を図られたい。
				<ul style="list-style-type: none"> <li>* 小学生地区学習会 部落差別をはじめあらゆる差別を許さない仲間づくりを進めるために、地域の歴史や人々の生活を学ぶ事で誇りに思い、差別を見抜き、なくしていくことのできる学習を行った。</li> <li>* 子ども教室 学力保障と差別をなくす仲間づくりを進めるため、長期休業期間中に、学習会や体験教室などを実施した。</li> </ul>	○「差別をなくすなかまづくり」は当然だが、リーダー育成という観点からも、地域での学習会やサークル活動のさらなる充実に努められたい。
				<ul style="list-style-type: none"> <li>* 小学生地区学習会 部落差別をはじめあらゆる差別を許さない仲間づくりを進めるために、地域の歴史や人々の生活を学ぶ事で誇りに思い、差別を見抜き、なくしていくことのできる学習を行った。</li> <li>* 子ども教室 学力保障と差別をなくす仲間づくりを進めるため、長期休業期間中に、学習会や体験教室などを実施した。</li> </ul>	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>* 中学生地区学習会、高校生・青年友の会 部落差別をはじめあらゆる差別を許さない仲間づくりを進めるために、地域の歴史や人々の生活を学ぶ事で誇りに思い、差別を見抜き、自分達で活動する大切さを学習することができた。</li> <li>* 人権教育講演会、学習会 部落差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃に向けて、地域における人権同和教育をすすめるために、様々な機会をとらえて人権同和教育に対する講演会や学習会を行った。</li> </ul>	

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	評価委員の意見
文化財課	歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	1 郷土の文化遺産の保護と活用 2 埋蔵文化財の保護と活用 3 文化財に関する資料の収集・保存及び活用	文化財保存経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 文化財保護審議会(3回)、文化財保護指導委員会(1回)を開催し、2件を新たに文化財として指定した。</li> <li>* 指定文化財の調査・管理、史跡の草刈など環境整備事業を実施した。</li> <li>* 指定文化財の保存修理に補助金を支出した。</li> <li>* オオサンショウウオをはじめ天然記念物の保護に努めた。</li> <li>* 指定文化財の説明看板を1ヶ所設置した。</li> <li>* 書籍『伊賀市の文化財』を販売し、文化財の啓発に努めた。</li> </ul>	○市民に対し郷土の文化財への理解を広める見学会など、文化財に触れる機会の更なる充実に努められたい。
				<ul style="list-style-type: none"> <li>* 県指定文化財春日神社拝殿の解体修理事業(解体・埋蔵文化財調査・耐震基礎工事・木工事)を助言・指導・監督した。</li> </ul>	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>* 国重要無形民俗文化財上野天神祭のダンジリ行事の民俗文化財伝承・活用等事業(東町楼車・福居町楼車)を助言・指導・監督した。</li> </ul>	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>* 国重要文化財猪田神社本殿の保存修理事業(屋根葺き替え)を助言・指導・監督した。</li> </ul>	
			文化財施設維持経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 直営2館、指定管理4館の文化財施設を適切に維持管理し、入館者を増やすよう啓発した。</li> </ul>	○施設の周知を図るため、魅力あるイベントの充実が図られてきているが、文化振興の担当部署とも連携した市民の活動支援につながる文化財の活用も検討されたい。
埋蔵文化財発掘調査経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 対象となる民間・公共の開発事業に対し協議を進め、適宜試掘調査・立会調査を行った。</li> </ul>				
高上野城石垣測量事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 上野城の高石垣で定点測量を実施し、高さや位置の変化を観察した。</li> </ul>				
伊賀国庁跡保存整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 史跡公園としての整備を図るため、史跡伊賀国庁跡保存整備事業実施設計検討委員会(2回)を開催し、実施設計を策定した。</li> </ul>				

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	評価委員の意見		
図書館	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	1	市民の学習活動の支援	<p>図書館管理経費 図書室管理運営経費</p> <p>・図書館の利用促進</p>	<p>* 市民の生涯学習の場として、蔵書や資料の充実、提供に努めた。</p> <p>* 伊賀地区学校図書館協議会主催の、高校生ビブリオバトル大会で紹介した人気本を展示し、中高生の読書推進に努めた。</p> <p>* 忍者月間には「忍者図書館」として、忍者特集や特別企画展示を行い利用促進に努めた。</p>	○図書館利用のため様々な取り組みが行われているが、他市町村でも実施されている一般向けビブリオバトル等読書意欲向上のための事業実施を期待する。	
			利用者サービスの充実	・図書の貸出	<p>* 市広報・図書室だより・分館の図書室広報誌等で、新着図書、おすすめ図書の紹介や催し物等開催について情報発信する中で利用促進に繋げた。</p> <p>* 図書館情報システム連携により、各図書館間や三重県立図書館等との相互貸借貸出等、利便性の向上を図った。</p> <p>* 地域の特性を活かした図書室運営を行い、身近な図書室ならではの読書活動推進に取り組んだ。</p> <p>* 校園長会などを通じて団体貸出のPRを行うとともに、市内小学校へのセット文庫の定期配送サービスを開始し、学校図書館支援を行った。</p> <p>* 上野点字図書館の録音図書の取次貸出サービスを開始した。</p>		○スタッフの努力を評価する。継続と一層の充実に努められたい。
		・図書配送サービス		<p>* 図書館情報システムの連携及び定期的な配送サービスにより、身近な地域で市内各図書館所蔵資料を受け取れる等、利便性の向上を図った。</p> <p>* 市内小学校へセット文庫を配送するとともに団体貸出を活用することにより、児童の図書利用促進を図った。</p>	○多言語を交互に読み聞かせることは日本人の親子にとっても多文化理解を広げる良い機会となっている。更に多くの外国出身の親子が参加し、読み聞かせ会をつうじて相互交流の推進にもつながるよう関係部署との連携に努められたい。		
		3	読書活動の支援と充実	・読み聞かせ会等の実施		<p>* 図書館(図書室)において、市内の各ボランティアグループの協力を得て、子どもが本に親しむ機会をつくるため、絵本や紙芝居の読み聞かせ会を実施した。</p> <p>* 学校などへ出向きブックトークや読み聞かせ会を実施するほか、伊賀鉄道と連携し「おはなしでんしゃ」を発車したり、他団体と連携し読み聞かせ事業を行うことにより、児童への図書利用促進を図った。</p> <p>* 同じ題名の各国の絵本を活用して、多言語での読み聞かせ会を開催し、言語・文化的な多様性に触れる機会をつくった。</p>	○幼児期からの読書の重要性について、家庭に向けた情報発信の充実に努められたい。
				・特集コーナーの設置	<p>* 「郷土の歴史夜咄会」を開催し、伊賀の歴史を学ぶ機会を提供するとともに、関連資料の歴史企画展示を行うことにより、伊賀の歴史への関心を高めた。</p> <p>* 市民ニーズや時事情報を参考にテーマを決め、関連資料特集コーナーを設け利用促進に努めた。</p>	○年齢が上がるにつれて読書習慣が損なわれていくことに歯止めをかけるために、読書機会の提案や読書環境の充実を更に求めたい。	
				・読書感想文コンクールによる読書活動啓発事業	<p>* 読書感想文コンクールを実施し、特に児童の読書推進に努めた。</p>	○スタッフの努力を評価する。継続と一層の充実に努められたい。	
					・読書感想文コンクールによる読書活動啓発事業	<p>* 読書感想文コンクールを実施し、特に児童の読書推進に努めた。</p>	○絵本・民話等の地域資料活用について、各地域の読み聞かせサークルの協力と合せ、市内連携による取り組みを推進されたい。

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	評価委員の意見
図書館	生涯を通じ、生きがいを持 ち活躍できる	4	資料の収集と活用の推進	・資料の収集と活用  ＊市民からのリクエストや司書が選書した新刊図書などを購入し、資料の充実を図った。 ＊古文献整理調査やレファレンス(調べもの相談)に取り組むとともに古文献の翻刻出版として『伊賀考』を発刊した。	